

1 消防力の現況

(1) 消防体制

ア 常備

令和2年4月1日現在の県内の消防本部数は15であり、このうち、高知市をはじめ8市が単独、19市町村が6つの一部事務組合、5町村が一つの広域連合として消防本部を設置するとともに、東洋町が室戸市消防本部に、芸西村が安芸市消防本部に消防業務を委託しており、常備化率は100%となっている。

消防吏員は1,197人で、前年に比べ1人減少した。

消防吏員の平均年齢は37.7歳で前年に比べ0.2歳高くなっている。年齢階層別では、30～39歳が386人と最も多く、全体の32.2%を占めている。

イ 非常備

令和2年4月1日現在、県内すべての市町村(11市、17町、6村)に34消防団が組織され、分団数は267となっている。

消防団員は条例定数8,733人に対し7,908人で、前年に比べ112人減少した。女性消防団員は301人で、前年に比べ4人減少した。

消防団員の平均年齢は、45.8歳で、前年と比べ0.4歳高くなっている。年齢階層では、40～49歳が2,672人と最も多く、全体の33.8%、次いで30～39歳が1,811人で全体の22.9%と、この二つの階層で全体の56.7%を占めている。

また、60歳以上は1,028人で前年に比べ36人の増加となっている。

